

保体・数学・美術の学習活動での個別指導における授業改善から

～「できる・分かる」を実感するため学習指導～

1. 授業改善のための視点

- ①「仲間との学び合い」を生み出すための具体的な声かけ表の活用 **【保健体育科】**
- ②学習内容のつながりに見通しをもち、筋道立てて考察できる姿を生み出す必然ある課題提示の工夫 **【数学科】**
- ③学びの実感(生徒の自己評価)と到達度(教師の観点別評価)の評価分析から生徒と教師のズレをなくし、個に合った指導を生み出す工夫 **【美術科】**

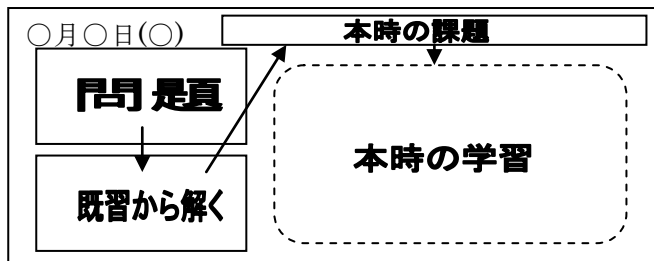
2. 具体的な実践

①具体的な声かけ表

「もっと声出して」「班の仲間へアドバイスをして。」「もっと、〇〇なアドバイスができるといいな。」と保健体育の学習活動では、集団の側面から、よく教師が学習活動中に述べる言葉である。

しかし、毎時間このように教師が声かけをしていては、学習活動での個の伸びは得られない。そこでこうした問題点を改善するために、次のカードを学習活動の導入で配布し、学習活動に取り組んだ。

数学科の学習活動では、まず初めに「既習」から始まり「問題提示」を行う。その問題提示から筋道立てて考察することを通して、本時の課題へとつなげている。考察することが必然ある課題づくりへとつながると考え取り組んでいる。



その結果、既習内容をもう一度理解し、本時の学習内容とつなげて考え、判断し、問題解決に取り組んでいく生徒が増えた。

③個に合った指導の生みだし

「先生、どうして私は〇〇を頑張ったのに、評価が△△なんですか?」という言葉が評定を出した時に聞かれることがある。これは、生徒の学習活動での学びの実感と到達度(教師の観点別評価)のズレがあるからではないかと考えられる。そこで、美術科では、左のように生徒にアンケートを取り、生徒の実感と教師の評価を照らし合わせどれくらいのズレが出るのかをグラフ化し、生徒への手立てを立てることにした。

その結果、一人一人が何を必要としているのか。また、Aの生徒をさらに伸ばすために何が手立てとして必要なのかを考えることができた。

声のかけ方～“おかけ”の存在になろう～

体育の学習では、『仲間と共に成長する、仲間と共に楽しく運動すること』が目標です。この目標を達成するために、最も大切なことは…
「仲間との声かけ」です。例えば、バスケットボールの授業では、「仲間の声かけのおかけを添ってシュート練習ができます!」「〇〇さんのアドバイスのおかけでゴール下のシュートが入るようになった!」「試合中みんな元気な動きの音や、動きの声をかけ合えたから勝つことができた」と実感できるように、毎時間「仲間との声かけ」を大切にしていきたいです。

	助走の声かけ【レベル1】	アドバイス【レベル2】	情報伝達【レベル3】
2分前学習 計画会	○「ナイスシュート!」「フライング!」 ○「練習だね!」「1本、2本、3本〜」 ○「その調子!」「フライング!」 ○「走って!」「戻れ〜!」 ○「今日は△△に声をかけて練習しよう!」 ○「〇〇さん、自分で!」 *前回の反省から、声はよく聴かれましたが、仲間に対して話した声をかけていこう!	○「1、2、シュート!」「ゴールを見て!」 ○「打ちやすい位置で、前に動かしてみよう!」 ○「〇〇さん、ボールを投げよう!」 ○「みんな、ゴールを覗いて!」 *練習中、みんなよく頑張りました!今日は△△の動きが良かったです!、今日の練習についてアドバイスをお願いします!	○「前回1分間でゴールに入りましたから、今日は△△を入れて!」 ○「前回ゴールを射ったのは、〇〇さん!」 ○「前回の試合では、ゴールキーパーが上手に守りました!」 ○「〇〇さん、シュートは練習しよう!」 ○「〇〇さん、シュートは練習しよう!」
練習中 試合中	○「ナイスシュート!」「フライング!」 ○「練習だね!」「1本、2本、3本〜」 ○「その調子!」「フライング!」 ○「走って!」「戻れ〜!」 ○「今日は△△に声をかけて練習しよう!」 ○「〇〇さん、自分で!」 *前回の反省から、声はよく聴かれましたが、仲間に対して話した声をかけていこう!	○「1、2、シュート!」「ゴールを見て!」 ○「打ちやすい位置で、前に動かしてみよう!」 ○「〇〇さん、ボールを投げよう!」 ○「みんな、ゴールを覗いて!」 *練習中、みんなよく頑張りました!今日は△△の動きが良かったです!、今日の練習についてアドバイスをお願いします!	○「前回1分間でゴールに入りましたから、今日は△△を入れて!」 ○「前回ゴールを射ったのは、〇〇さん!」 ○「前回の試合では、ゴールキーパーが上手に守りました!」 ○「〇〇さん、シュートは練習しよう!」 ○「〇〇さん、シュートは練習しよう!」
反省会	○「練習だね!」「1本、2本、3本〜」 ○「その調子!」「フライング!」 ○「走って!」「戻れ〜!」 ○「今日は△△に声をかけて練習しよう!」 ○「〇〇さん、自分で!」 *前回の反省から、声はよく聴かれましたが、仲間に対して話した声をかけていこう!	○「1、2、シュート!」「ゴールを見て!」 ○「打ちやすい位置で、前に動かしてみよう!」 ○「〇〇さん、ボールを投げよう!」 ○「みんな、ゴールを覗いて!」 *練習中、みんなよく頑張りました!今日は△△の動きが良かったです!、今日の練習についてアドバイスをお願いします!	○「前回1分間でゴールに入りましたから、今日は△△を入れて!」 ○「前回ゴールを射ったのは、〇〇さん!」 ○「前回の試合では、ゴールキーパーが上手に守りました!」 ○「〇〇さん、シュートは練習しよう!」 ○「〇〇さん、シュートは練習しよう!」

“声”があふれる授業を創り上げよう!

その結果、生徒一人一人が自分に合ったアドバイスの仕方や声かけのやり方を選択肢し、学習活動中に、全員が声をかけることができるようになった。

②必然ある課題提示

どの教科においても「課題提示までの時間が長い」「課題を提示しない」等の課題がある。こうした課題を克服するために、数学科の板書を参考にするように啓発を行っている。

美術科 1年生 前期(前半)における評価分析

本単元の学習目標は、「既習内容や経験をもとに、創造的な表現を通して、美術的表現の楽しさを味わうこと」である。この目標を達成するために、「既習内容や経験をもとに、創造的な表現を通して、美術的表現の楽しさを味わうこと」を学習目標として設定し、学習活動を通じて達成させることとした。評価分析は、この目標達成に向けた学習活動の様子を評価し、学習者の理解や表現の質を把握するために実施した。評価分析の結果、学習者の理解や表現の質は、概して良好であったが、一部の学習者には、表現の質や創造性において課題が見られた。この結果に基づき、今後の学習活動において、表現の質や創造性を高めるための指導を行うこととした。

項目	既習内容や経験をもとに、創造的な表現を通して、美術的表現の楽しさを味わうこと	達成率
① 既習内容や経験をもとに、創造的な表現を通して、美術的表現の楽しさを味わうこと	69.0	55.0
② 既習内容や経験をもとに、創造的な表現を通して、美術的表現の楽しさを味わうこと	52.5	55.0
③ 既習内容や経験をもとに、創造的な表現を通して、美術的表現の楽しさを味わうこと	48.0	43.0
④ 既習内容や経験をもとに、創造的な表現を通して、美術的表現の楽しさを味わうこと	47.5	50.1
⑤ 既習内容や経験をもとに、創造的な表現を通して、美術的表現の楽しさを味わうこと	54.5	55.9
⑥ 既習内容や経験をもとに、創造的な表現を通して、美術的表現の楽しさを味わうこと	45.9	44.5
⑦ 既習内容や経験をもとに、創造的な表現を通して、美術的表現の楽しさを味わうこと	53.4	45.1
⑧ 既習内容や経験をもとに、創造的な表現を通して、美術的表現の楽しさを味わうこと	40.5	57.1

※ 評価分析の結果、学習者の理解や表現の質は、概して良好であったが、一部の学習者には、表現の質や創造性において課題が見られた。この結果に基づき、今後の学習活動において、表現の質や創造性を高めるための指導を行うこととした。

